

## 【新規】防犯カメラ設置ランニングコストの一部助成スタート

### ◇事業目的

区が指定する「安全安心まちづくり推進地区」内において、町会・自治会、商店街等が地域見守り活動を推進する方法の一つとして防犯カメラを設置している。防犯カメラの設置費用の助成に加え、維持管理費の一部を助成することにより自主防犯対策の向上を支援し、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりを目指す。

### ◇事業内容

町会・自治会、商店街などが、東京都と区による助成制度を活用し、防犯カメラを設置した台数は519台。平成27年度末までに604台の設置を予定している。

平成28年度は、維持管理費として電気料金、電柱使用料の一部を防犯カメラ1台あたり4,000円助成する。

### 【参考】平成27年度末（見込み含む）防犯カメラ設置団体数

1. 町会・自治会 70団体
2. 商店街等 34団体



町会・自治会



商店街等

◇事業予算 2,416千円

問い合わせ：地域振興部 濱田 生活安全担当課長 電話5742-6584



## 【新規】京浜急行線連続立体交差化に向けた取り組み

### ◇事業目的

品川駅周辺は国内における新たな交通拠点として基盤整備が加速している。リニア中央新幹線の発着や品川駅～田町駅間に新駅、羽田アクセス線構想に加え、平成 27 年度、京浜急行線連続立体交差化に向けた調査業務に東京都が着手した。東京都は今後、都市計画および環境アセスの手続きの実施、事業認可の取得を進める予定。

京浜急行線の八ツ山踏切等の解消は地域の課題であり、平成 26 年 6 月に策定した「品川駅南地域まちづくりビジョン」に基づき一体的なまちづくりを進めている。

立体交差化は、踏切除去による交通渋滞の解消および安全性の確保、まちの一体性の確保によるにぎわいの創出および鉄道輸送力の増大と高架下空間の有効活用による沿線利便性の向上につながり、主体となる東京都、鉄道事業者とともに事業の推進を図る。

### ◇事業内容

京浜急行線連続立体交差化事業に伴い、八ツ山踏切の周辺における道路交通や私道、側道への影響等を調査する。

◇事業予算 5,000千円 ※まちづくり側道等基礎調査費

## 補助 163 号線・東急大井町線ガード下区間の整備

### ◇事業目的

補助 163 号線は、区の主要な地域である大井町地区と大崎地区を結ぶ重要な地区幹線道路である。東急大井町線ガード下付近は道幅が狭く、渋滞解消や安全で快適な歩行空間の確保のため、現道を拡幅する。

平成 26 年度に、周辺の区民を対象に事業説明会を開催し、平成 26 年 12 月 19 日に事業認可（東京都告示第 1703 号）を取得した。また、平成 27 年度に工事説明会を開催し、東急大井町線架道橋架替工事の架替工事に着手したことから、引続き架替工事を進めるとともに、用地取得を進めていく。

### ◇事業内容

1. 対象区間 都市計画道路補助 163 号線（東急大井町線ガード下区間）  
所在地：広町二丁目 1 番先～二葉一丁目 8 番先 延長：約 65m
2. 実施内容 道路拡幅に向けた用地取得に関する業務と東急大井町線架道橋架替工事  
（道路幅員：約 11～14m → 計画幅員：16m）
3. スケジュール 平成 27～31 年度 東急大井町線架道橋の架替工事  
平成 31～32 年度 東急大井町線ガード下区間の道路拡幅工事

### ◇事業予算 1,345,398 千円

（内訳）	東急大井町線交差部工事	1,189,976 千円
	用地使用料（工事ヤード）	21,730 千円
	委託料等（用地取得関連業務）	133,692 千円



問い合わせ：防災まちづくり部 稲田 道路課長 電話 5742-6788